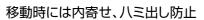
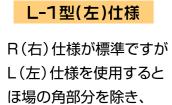




スタンド (オプション) にセット、 ブロックマスターは内寄せ。 着脱、収納に便利で オートヒッチ対応が出来ます。







残耕処理が逐行出来ます。



反転状態



あぜ際の処理作業は、 写真の様に最初に行う場合や ロータリー耕の後作業でも、 使用出来ます。







←L(左)仕様の作業状況 R(右)・L(左)を保有されますと、 ほ場の四隅の角部を除き、 一貫作業が可能です。

※台形コンクリート打込みの、あぜ際作業時は ブロックマスターミニを浅めに装着します。



カントリーブロックマスターミニ.SP



片培土器との併用で、あぜ際のうね立てが完成。





3点リンクは日農工規格 標準オートヒッチ、

特殊オートヒッチ

(A型·B型)

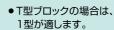
及び従来の普通3Pに対応します。

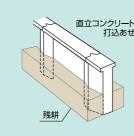
田涂

- ●あぜ際の残耕処理
- ●あぜ際のうね作り、溝作り

特長

- ●コンクリートあぜの残耕部分(下図)を耕起し、 溝も整形できるのでとても便利です。
- ●トラクタの機能を大いに利用、人手による残耕の処理作業を大幅に軽減します。
- ●ガイドローラーとバネの作用により、凸凹や曲 がったあぜ際の残耕もスムーズに処理できます。





●直立コンクリートの場合は、 2型が適します。



1型 ガイドローラー 2型



尾ソリセット

尾ソリは、ヒッチ部の水平保持に 有効です。(通常はオプション設定)